



Title	彙報
Author(s)	
Citation	懷徳. 1964, 35, p. 71-72
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90400
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

彙報

(懷德堂記念會)

○秋季講座 昭和三十八年九月三十日(月)より十月五日(土)まで、本會及阪大文學部主催、朝日新聞社後援で、阪大本部松下會館講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、懷德堂講座第二十六回開講、聽講者延三百二十名。

演題と講師

米歐を巡つての所感

—東西の文化と將來—

日本人の評價

—アメリカとイギリスの場合—

歐米に於ける外國語教育

—極東語を中心として—

東南アジアの佛教

—アジアの光—

香港の一年

アメリカの日本研究

○記念祭典 昭和三十八年十月五日(土)北濱本會(適塾内)に於て、午後一時より記念祭典を執行し、新に鈴木虎雄先生を奉祀した。次いで同一時四十分より記念講演會を開き、大阪大學教授宮本又次先生の「懷德堂の經濟思想」と題する講演があつた。

○評議員中根貞彦氏 昭和三十九年一月二十四日逝去。

○昭和三十九年三月三十一日 理事天野利武氏退任。
○昭和三十九年四月一日 時野谷勝氏(大阪大學文學部長)理事就任。

○春季講座 昭和三十九年五月二十五日(月)より三十日(土)まで、本會及阪大文學部主催、朝日新聞社後援で、阪大本部松下會館講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、懷德堂講座第二十七回開講、聽講者延三百十五名。

演題と講師

論語の鄉黨篇

陶淵明と現代

周濂溪の通書

日本上代の詩

鄂君啓節について

—楚國の社會と文化—

鏡 花 緑

(懷德堂堂友會)

○昭和三十八年十月一日『懷德』第三十四號發行。

○同年十月五日懷德堂恆祭に、委員參列、奉仕。

○昭和三十八年十月二十七日(日)滋賀縣金剛輪寺(通稱松尾寺)見學。參加者二十五名。

○昭和三十八年十二月十五日、委員永原武夫氏死去。

○昭和三十九年一月十五日、委員補佐喜多芳子氏死去。
右兩氏共多年本會のため盡され、眞に哀悼に堪えない。

○昭和三十九年四月二十九日（日）兵庫縣太山寺を、關西學院大學齊藤孝先生の指導で見學。参加者三十名。（見學後、有志で明石市の本立寺に、懷遠堂初代教授松山直藏先生の展墓をした）
○昭和三十九年七月五日（日）齊藤孝先生の指導で奈良西大寺、般若寺見學、参加者二十名。（西大寺では特に大茶盛りを

いただいた）

○委員異動（昭和三十九年九月一日）委員桐本梅之助（委員補佐）委員川尻進（委員補佐）委員山口正男（委員補佐）委員補佐中川幸三（委員）委員補佐酒井全太郎（委員）委員補佐田中昭子